



日本語

3針/3針日付表示



日付の設定

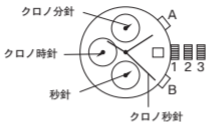
1. リュウズを2の位置まで引き出します。
2. リュウズ奥に回して日付を合わせます。
3. リュウズを1の位置に押し戻します。

時刻の設定

1. リュウズを3の位置まで引き出します。
2. 手前へリュウズを回して針を進め、当日の日付に変わるまで回し続けます。
3. 時分針を正しい時刻にセットします。
4. リュウズを1の位置に押し戻します。

注意: 時計に日付機能が装備されていない場合の時間設定は、リュウズをポジション2の位置まで引き出します。

クロノグラフモデル OS10 (日付なし OS30)



時刻の設定

1. リュウズを3の位置まで引き出します。
2. リュウズを回して時間を合わせます。
3. リュウズを1の位置まで押し戻します。

日付の設定

1. リュウズを2の位置まで引き出します。
2. 正しい日付が表示されるまで、リュウズを手前に回します。
3. リュウズを1の位置まで押し戻します。

クロノグラフの使用方法

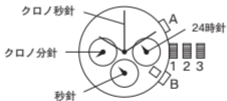
1. Aボタンを押して計測のスタート/ストップを行います。
2. Bボタンを押すと、クロノグラフがリセットされ、クロノ秒針、クロノ分針、クロノ時針が0位置に戻ります。

クロノグラフ針位置の調整(0リセット)

クロノグラフをリセットしても、クロノ秒針がゼロ位置に戻らないときは、この操作を行ってください。

1. リュウズを3の位置まで引き出します。
2. Aボタンを押してクロノ秒針をゼロ位置に合わせます。
(Aボタンを押し続けることによって、針を早く進めることができます。)
3. 時計を正しい現在時刻に合わせてリュウズを1の位置に押し戻します。

クロノグラフモデル OS20 / FS00



時刻の設定

1. リュウズを3の位置まで引き出します。
2. リュウズを回して時分針を正しい時刻にセットします。
3. リュウズを1の位置まで押し戻します。

日付の設定

1. リュウズを2の位置まで引き出します。
2. 正しい日付が表示されるまで、リュウズを手前に回します。
3. リュウズを1の位置まで押し戻します。

クロノグラフの使用法

* 1秒単位1時間まで計測可能です。

1. Aボタンで計測のスタート/ストップを行います。
2. Bボタンを押すと、クロノグラフがリセットされ、クロノ秒針、クロノ分針、クロノ時針が0位置に戻ります。

クロノグラフ針位置の調整(0リセット)

クロノグラフをリセットしても、クロノ秒針がゼロ位置に戻らないときは、この操作を行ってください。

1. リュウズを3の位置まで引き出します。
2. Aボタンを押してクロノ秒針をゼロ位置に合わせます。
(Aボタンを押し続けることによって、針を早く進めることができます。)
3. クロノ針をゼロ位置に合わせたら、正しい時刻をセットし直しリュウズを1の位置に押し戻します。

* 時計がゼロ位置を誤認してクロノグラフが正しく作動しなくなるおそれがありますので、針の移動中にリュウズを1の位置に戻さないようご注意ください。

耐水性

耐水性レーティングはケース裏をご覧ください。

耐水性レーティングは、ウォッチの内部コンポーネントへのダメージを防ぐための耐水性のガイドラインになります。推奨用途のガイドラインは表をご覧ください。

ウォッチの内部への浸水によるダメージを防ぐため、以下の指示に従ってください：

- 水に濡れた状態でクラウンを調整しないでください。
- 水に濡らす前にクラウンが閉じていることを確認してください。
スクリューダウンクラウンの場合、
水に濡らす前にクラウンがしっかりと閉まっていることを確認してください。
- プッシャーボタン機能対応のスマートウォッチの場合、
水中でボタンを操作しないでください。
- 極端な環境 (熱いお湯、サウナ、スチームルームなど)
でのご使用はお奨めしません。
- 圧力のかかった水 (水道から出てくる水、波、滝など)
にはさらさないでください。
- 塩水に長時間さらさないでください。塩水に触れた場合、
5ATM 以上の場合は水で洗い流して柔らかい布で拭いてください。

水関連の推奨用途

表記	耐滴  (手洗い)	潜水可能  (水泳)	浅いダイビング  (シュノーケリング)	スクーバダイビング  (深海を除く)
(なし)				
3 ATM • 3 BAR • 30 メートル	✓			
5 ATM • 5 BAR • 50 メートル	✓	✓		
10 ATM • 10 BAR • 100メートル	✓	✓	✓	
20 ATM • 20 BAR • 200メートル	✓	✓	✓	✓